

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、内閣府から第4期目となる中心市街地活性化基本計画の認定を受け、令和5年4月から令和10年3月までの間、『県都にふさわしい中心市街地の魅力が伸展するまちづくり』～住む人・訪れる人が幸せを感じる豊かで洗練されたまち～をテーマとして掲げ、「①多種多様な人々で賑わう魅力あるまちなか商業拠点の形成」「②多くの人々が行き交い、多様なサービスが受けられる空間の創出」「③住みたくなるまちなかの環境整備」の3つを基本的な方針として、各事業に取り組んでいるところである。

令和7年は、大分空港における台湾直行便の定期就航や大阪・関西万博を契機としたプロモーションの効果もあり、大分県内の宿泊客数は国内客416万8千人、インバウンド119万8千人と県が統計を始めた平成18年以降で最多となり、本市にも昨年を上回る観光客が訪れた。また、中心市街地の居住人口は、大型マンションの建設等により堅調に推移しており、今後も「末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業」等の進展により、さらなる増加が見込まれる。

中心市街地においては、「荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業」や「市道中央通り線歩道修景整備事業」が完了し市街地の整備が進むとともに、「大分七夕まつり」や「大分アートフェスティバル」、「大分市中央通り歩行者天国」、「OITA URBAN SPORTS FES」、「おおいたサイエンスパーク」等の大規模イベントの開催に加え、「中心市街地商都復活支援事業」を活用した民間主体イベントも多数開催され、賑わい創出につながったと考えられる。

民間事業者においては、商店街と大型店の連携に加え、大型店同士のコラボレーションが展開されたほか、大企業によるホテル建設や不動産取得なども進み、中心市街地への民間投資が活発化する兆しも見せている。

また、「大分市若手起業家育成施設Mirattend」をはじめ、大型商業施設等におけるコワーキングスペースやスモールオフィスの整備が進み、起業・創業に関心を寄せる若者が中心市街地で活動しやすい環境が整いつつある。これらの動きが、まちなかでのイベント開催につながった事例もあり、将来的な賑わいの担い手の創出にもつながるものと期待される。

令和8年度は、大手公園スケートボードパークの供用開始、若草公園の再整備に加え、過去最大規模となる大分市プレミアム付商品券の発行が予定されている。こうした機会を的確に捉え継続した賑わいの創出を図るため、今後も中心市街地への持続的な投資を促進するとともに、行政、商店街、大型店、まちづくり関係者等が連携し、県都にふさわしい中心市街地の魅力向上に取り組む必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(人口増減数算出基準日：毎年度 12 月末日) ※単位：人

(中心市街地区域)	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	21,048	21,186	21,243	21,096	21,323		
人口増減数	▲131	138	57	▲47	227		
自然増減数				▲75	▲24		
社会増減数				59	304		
転入者数				2,106	2,156		
転出者数				2,181	1,852		

※「人口増減数」と、「自然増減数」と「社会増減数」の合計は、システム抽出の都合上、必ずしも一致しない。

(2) 中心市街地小売業年間商品販売額(資料：大分市)

※単位：億円

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
販売額	833	872	918	942			

(3) 中心市街地の地価(公示地価)の推移(資料：国土交通省地価公示)

※単位：千円/㎡

区分	標準 地番 号	住所	備考	令和3 年度(基 準年度)	令和4年 度(計画 前年度)	令和5 年度(1 年目)	令和6 年度(2 年目)	令和7 年度(3 年目)	令和8 年度(4 年目)	令和9 年度(5 年目)
①	大分 5-1	中央町 1-3- 23	商業地	589	595	599	604	613		
②	大分 5-2	都町 2-1-6	商業地	359	363	374	386	400		
③	大分 5-4	府内町 1-4- 11	商業地	210	212	215	219	225		
④	大分 5-6	金池町 3-1- 68	商業地	175	183	189	197	207		
⑤	大分 5-8	大道町 3-2- 26	商業地	131	134	139	146	158		
⑥	大分 5-19	末広町 2-1- 13	商業地	161	164	177	192	208		
⑦	大分 5-20	大手町 1-1- 8	商業地	155	159	162	171	180		
⑧	大分 5-27	中央町 3-1- 2	商業地	280	287	298	310	323		
⑨	大分 10	金池南 1- 14-32	住宅	155	159	160	165	172		

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度の取組については、第4期大分市中心市街地活性化基本計画に位置付けた事業が着実に実施され、中心市街地のにぎわい創出や活力向上に寄与したものと評価している。

計画における目標達成度についても、中心市街地の歩行者通行量が目標値を26,939人上回るなど大幅増を達成しており、また、空き店舗率と居住人口に関しては、目標値には至らなかったものの、いずれも基準値を上回る改善が見られた。

中心市街地においては、大型マンションの建設等により居住人口が堅調に推移しており、今後も末広町の再開発事業等の進展により、さらなる増加が見込まれる。また、荷揚町小学校跡地や市道中央通りの整備が完了し、市街地の整備が進むとともに、例年行われる「大分七夕まつり」や令和7年度初開催の「おおいたサイエンスパーク」等、各種大型イベントが活気を創出し、これらが歩行者通行量や居住人口の増加を後押ししたと考えられる。

民間事業者においては、商店街と大型店の連携に加え、大型店同士のコラボレーションが展開されたほか、大企業によるホテル建設や不動産取得なども進み、中心市街地への民間投資が活発化する兆しも見せている。

令和8年度は、大手公園スケートボードパークの供用開始、若草公園の再整備に加え、6月から過去最大規模となる大分市プレミアム付商品券の販売及び利用が予定されている。

当協議会としては、このような魅力ある中心市街地の創出と力強い経済支援策が同時期に展開される好機を捉え、来街者の満足度向上につながる体制の整備を図るとともに、中心市街地の価値向上に資する施策がより一層推進されることを期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	目標達成に関する見通し	
						前回の見通し	今回の見通し
伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化	空き店舗率	9.0% (R3)	4.6% (R9)	8.2% (R7)	B	A	B
魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量 (土日計)	259,541 人 (R3)	291,000 人 (R9)	317,939 人 (R7)	A	A	A
まちなか居住の推進	中心市街地の居住人口	21,048 人 (R3)	22,800 人 (R9)	21,323 人 (R7)	B	A	A

< 基準値からの改善状況（※１） >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類（※２） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況（※１） >」、< 目標達成に関する見通しの分類（※２） >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

2. 目標達成見通しの理由

「空き店舗率」については、まちなか出店サポートセンター運営事業を通じた事業相談やまちなか出店支援事業、小規模事業者競争力強化支援事業により、基準値から改善が見られた。一方で、床面積が広すぎることや排水など飲食店を出店する設備が整っていないため、出店者のニーズとマッチせず長期間、空き店舗となっているケースもみられる。令和７年度末時点で空き店舗は30店舗で、目標達成には13店舗の出店が必要であり、これまでの出店ペースを踏まえると目標達成は見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる。今後は、これまでの取組に加え、金融機関等との連携強化による出店支援制度の利用勧奨により新たな出店を促進することで目標達成を目指す。

「中心市街地の歩行者通行量」については、「市道中央通り線歩道修景整備事業」等の完了による効果の発現や「大分七夕まつり」や「大分アートフェスティバル」などの大規模イベントの開催に加え、「中心市街地商都復活支援事業」によるイベント開催数が増加したことにより来街機会の提供が図られたことが要因であると考えられる。基準値と比較しても58,398人増加しており、目標達成が見込まれる。

「中心市街地の居住人口」については21,323人となり、基準値と比較し275人増加した。令和７年度に新設マンションが建設された地区でも居住人口が増加しており、今後も「末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業」や民間事業者による新設マンションの建設などにより少なくとも7棟、850戸以上の新たな住宅供給が予定されていることから、目標達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「空き店舗率」

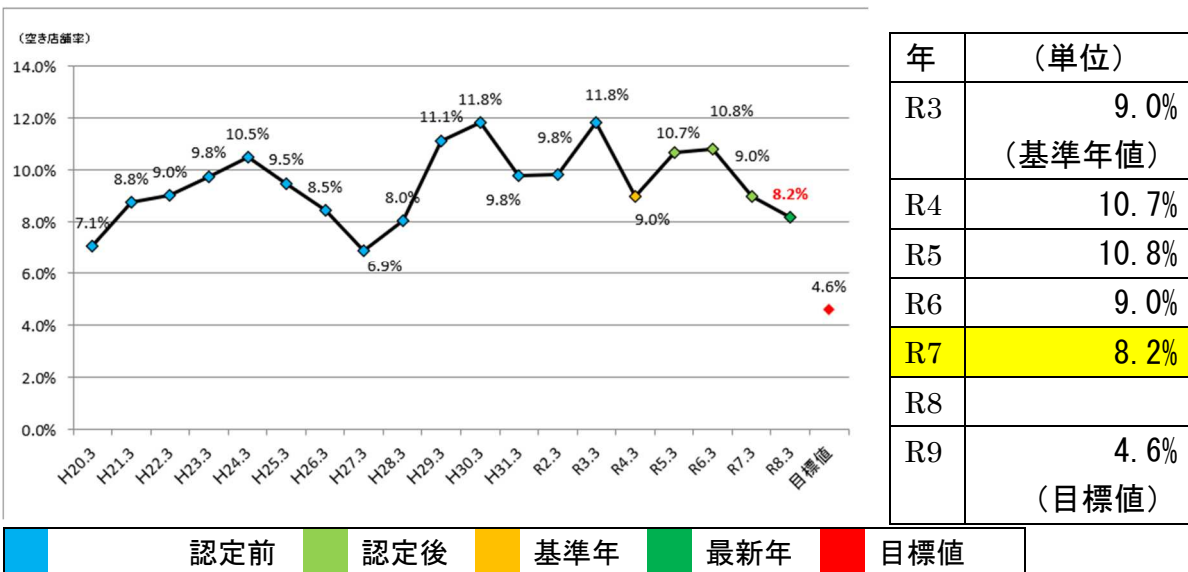
目標達成見通しについては、主要事業の一つである「まちなか出店支援事業」の利用実績が、令和２年度：７件、令和３年度：１６件、令和４年度：１２件、令和５年度：９件、令和６年度：７件と推移している。令和６年度フォローアップにおいては、「まちなか出店支援事業」の利用者が７件であり、このペースで出店が継続することにより、目標達成が見込まれる（Ａ）と想定していたが、令和７年度の利用者は３件にとどまり、現在においても増加の兆しが見られないことから目標達成が見込まれない（Ｂ）と評価した。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「空き店舗率」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 86～P. 91 参照

●調査結果と分析



※調査方法： 職員の目視による

※調査月： 毎年3月

※調査主体： 大分市

※調査対象： 中心市街地における5商店街組合区域内的の建物1階部分



(単位：％)

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
大分市竹町通 商店街振興組 合	10.5	14.5	13.2	16.2	16.0		
大分市中央町 商店街振興組 合	8.4	7.4	8.5	7.7	6.9		
大分市府内五 番街商店街振 興組合	8.6	11.4	16.9	12.7	5.7		
大分市ポルト ソール商店街 振興組合	10.8	12.9	4.3	1.4	4.2		
サンサン通り 商店街振興組 合	6.0	8.2	12.2	6.1	8.2		

〈分析内容〉

令和7年度の空き店舗率は8.2%となり、前年度から0.8ポイント改善している。各商店街の状況を見ると、府内五番街商店街では昨年度と比較し7.0%の改善となった。一方、竹町通商店街では、床面積が広すぎることや排水など飲食店を出店する設備が整っていないため、出店者のニーズとマッチせず長期間、空き店舗となっているケースもみられる。

本市が実施する「まちなか出店支援事業」を活用し、令和7年度には飲食業1件、サービス業2件の計3件の新規出店があった。過去に同事業を活用し出店した店舗の5年後の定着率は6割を超えており、事業の推進が空き店舗率の改善につながるものと見込まれる。さらに、小規模事業者競争力強化支援事業により販路開拓や業務効率化を支援しており、店舗の経営基盤強化と定着率の向上が期待される。

今後は、出店促進に加え、既存店舗の定着支援を一体的に進めることで、中心市街地の持続的な活性化を図る必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか出店サポートセンター運営事業（大分市）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	起業家や相談者に対し、空き店舗・空地・空きビル情報の提供、商店街・大型店の店舗業種情報・不足業種情報の提供、イベントのマネジメントや情報提供、再開発等の支援情報提供などの出店サポート等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業による空き店舗の改善数 15店舗／5年 【最新値】（積算根拠による推計値）本事業による空き店舗の改善数 15店舗／5年 ・まちなか出店支援事業により令和2年度に開店した店舗（※5商店街振興組合エリアでの出店に限る）のうち5年間継続して営業し

	ている店舗の割合は6割であり、最新値は目標値と同数である。 なお、第3期基本計画期間中（平成30年4月～令和5年3月）の相談実績は473件、年平均で約95件であるが、令和7年度の相談件数は84件である。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組み、新規出店数の増加につなげる。

②. まちなか出店支援事業（大分市）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において空き店舗への出店や起業の事業意欲のある商業者や起業家に対して、事業の継続性が認められるものに対し、改装費・備品購入費および広告費等の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業による空き店舗の改善数 15店舗／5年 【最新値】（積算根拠による推計値）本事業による空き店舗の改善数 15店舗／5年 ・まちなか出店支援事業により令和2年度に開店した店舗（※5商店街振興組合エリアでの出店に限る）のうち5年間継続して営業している店舗の割合は6割であり、最新値は目標値と同数である。 なお、第3期基本計画期間中（平成30年4月～令和5年3月）の出店実績は62件、年平均で約12件であるが、令和7年度の新規出店数は3件である。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組むとともに金融機関との連携を強化し、新規出店数の増加につなげる。

③. 小規模事業者競争力強化支援事業（大分市）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	市内の小規模事業者の販路開拓や業務効率化の取組等に要する経費を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業における閉店抑制数 8店舗／5年 【最新値】（積算根拠による推計値）本事業における閉店抑制数 11店舗／5年 ・本事業による補助件数が令和7年度においては159件あり、事業者へのアンケート調査で売上が増加したと回答した事業者は74%に上り、最新値が目標値を上回っており、事業の効果が発揮されていると考えられる。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組み、店舗の定着率向上につなげる。

④. 若手起業家育成事業（大分市）

事業実施期間	令和４年度～【実施中】
事業概要	学生等若者を対象にした起業セミナーやビジネスプランコンテストの開催や、若者を対象とした起業家育成施設の整備等を実施することにより、若者の創業マインドの醸成やニーズの発掘、育成を図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和５年度～令和６年度） 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】間接効果のため事業目標値の設定なし ・起業セミナーやおおいた学生ビジネスプランコンテストを開催するとともに、令和６年１０月から若手起業家育成施設を供用開始。 【Ｒ７年度実績】 ・起業セミナー：参加者１２７人（全１０回開催） ・おおいた学生ビジネスプランコンテスト：応募数２４組 イベント当日参加者：８５人 ・若手起業家育成施設：会員数２,３５６人利用者数延べ６,１２２人 上記のことから中心市街地の賑わいの創出に寄与したと考えられる。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組み、起業を志す若者を増やすことで商業の活性化につなげる。

⑤. まちなかりノベーション居住等物件魅力アップ事業（㈱大分まちなか倶楽部）

事業実施期間	平成３０年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗等の魅力アップと老朽化した物件のリノベーションを行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】間接効果のため事業目標値の設定なし ・人件費や建築資材の高騰などの外的要因により、現在まで既存ストックのリノベーションを実現できていない。 引き続き物件のリノベーションの効果的な実施に向け調査・研究を進める。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組み、新規出店数の増加及びまちなか居住の魅力を高め、商業の活性化及び居住人口の増加につなげる。

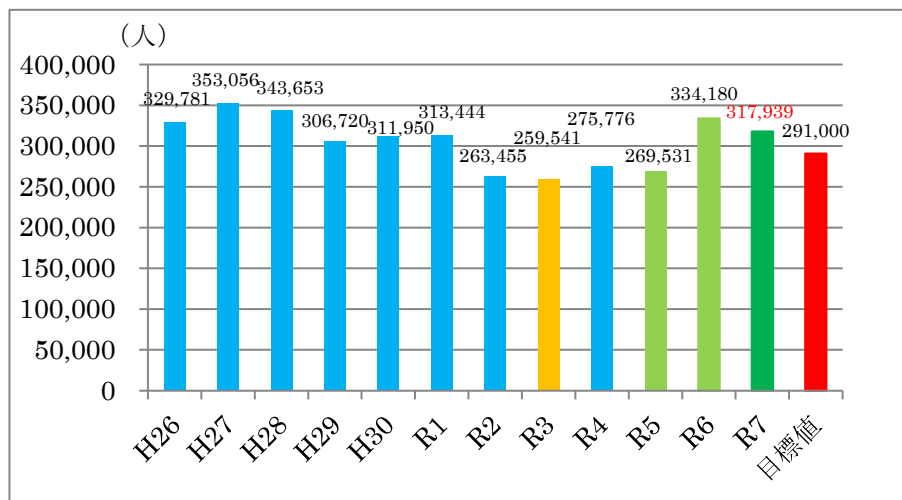
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているものの、「まちなか出店支援事業」による出店ペースが鈍化しており、現状では目標達成が見込まれない状況である。今後の対策として、まちなか出店支援事業を継続するほか、金融機関の融資部門担当者と密接に連携し新規開業者に対する補助金の制度案内や活用支援を強化するとともに、出店希望者の自宅や事業予定地を訪問し伴走支援を行う訪問型新規開業コンサルティング事業を実施することで利用者の拡充を目指す。

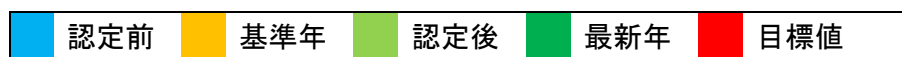
(2)「中心市街地の歩行者通行量(土日計)」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 92～P. 96 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R3	259,541 人 (基準年値)
R4	275,776 人
R5	269,531 人
R6	334,180 人
R7	317,939 人
R8	
R9	
R9	291,000 人 (目標値)



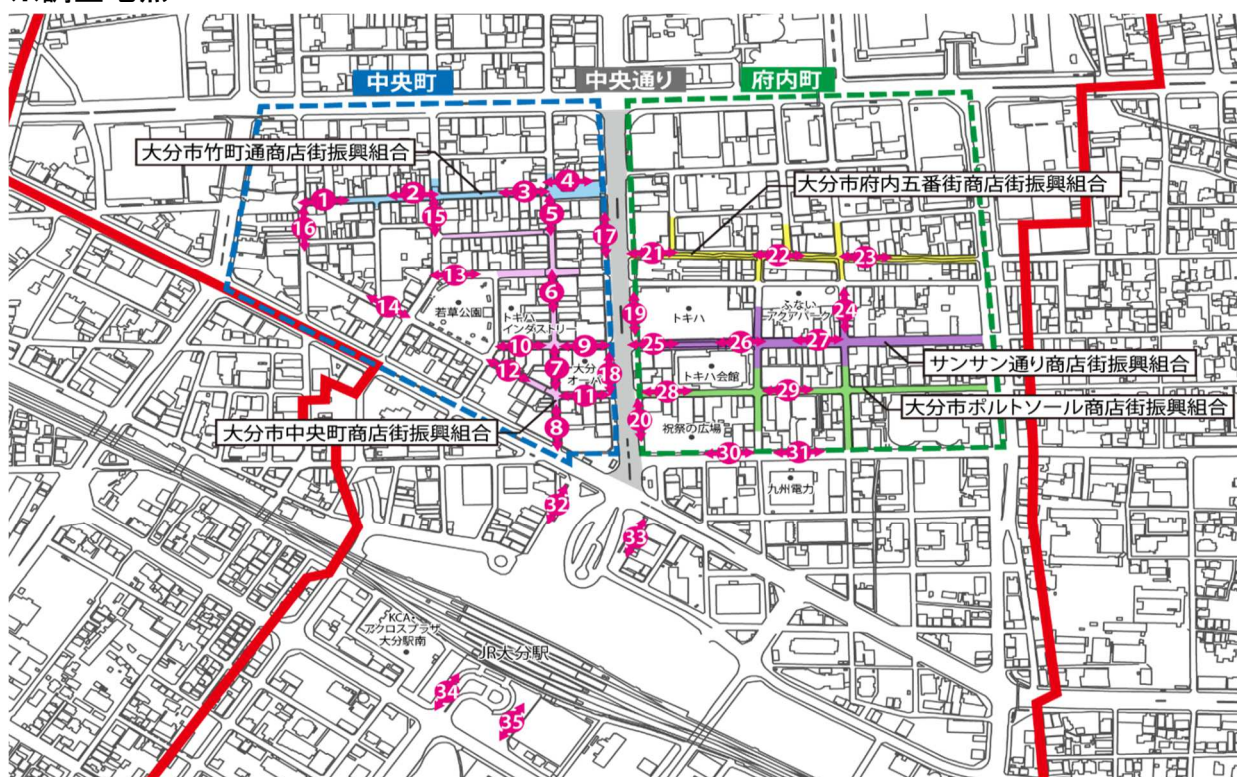
※調査方法： 歩行者通行量調査

※調査月： 毎年11月

※調査主体： 大分市

※調査対象： 大分市中心部35地点にて定点調査を実施

※調査地点



(単位：人)

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
地点1：レストラン石合船前	5,671	5,787	5,451	7,025	6,262		
地点2：メガネの正視堂前	6,906	6,857	6,515	8,483	7,374		
地点3：岩尾洋装店前	8,356	9,260	8,562	10,721	10,415		
地点4：三井時計店前	6,181	6,362	6,542	9,988	5,522		
地点5：ファミリーマート大分中央町2丁目店東側	13,391	13,315	13,708	16,188	16,668		
地点6：近江屋前	14,182	15,096	15,061	18,867	17,289		
地点7：大分オーパ西側（中央町側）	18,543	20,019	17,626	23,252	24,193		
地点8：ウイング前	18,788	19,767	18,644	24,135	20,960		
地点9：大分オーパ北側（ライオンパーク側）	10,560	11,739	10,579	12,506	13,405		
地点10：トキハインダストリー 正面入り口	10,306	11,373	9,508	15,288	14,354		
地点11：カメラのミヤカワ前	1,957	2,232	2,020	2,061	2,283		
地点12：ブンゴヤ薬局本店前	2,947	2,918	3,243	3,447	3,619		
地点13：若草公園北側	2,685	3,013	3,822	4,136	4,771		
地点14：アベパーキング駐車場前	1,647	1,864	2,348	2,007	3,107		
地点15：ローソン竹町通り店西側	3,585	3,668	3,931	4,520	4,563		
地点16：コトブキヤ前	2,056	2,098	2,181	2,056	2,553		
地点17：大和証券前	3,192	3,502	3,705	3,964	3,797		
地点18：大分オーパ東側（中央通り側）	4,862	5,576	5,106	5,776	5,336		
地点19：トキハ西側（中央通り側）	7,743	7,711	8,044	8,128	9,351		
地点20：トヨタカローラ大分祝祭の広場西側（中央通り側）	11,774	10,569	10,717	12,950	13,238		
地点21：パチンコ DAISYO 前	3,370	4,049	3,985	4,129	4,158		
地点22：若竹園前	4,351	6,339	6,071	5,937	6,701		
地点23：ライフパル前	3,196	3,187	3,296	3,346	3,363		
地点24：ふないアクアパーク東側（田北学院前）	2,906	2,711	3,255	3,201	3,001		
地点25：トキハ南側	6,732	6,709	6,539	6,796	5,919		
地点26：トキハ会館向かい側入り口付近	7,963	7,398	7,660	9,159	8,656		
地点27：河電ビル前	4,176	3,520	3,900	4,475	3,898		
地点28：太田旗店前	2,783	2,926	3,234	3,646	3,321		
地点29：大分信用金庫府内町支店前	6,445	6,493	6,665	8,021	7,572		
地点30：トヨタカローラ大分祝祭の広場南側	5,521	5,166	5,415	6,750	6,482		
地点31：九州電力北側	2,973	3,054	3,146	2,903	3,117		
地点32：旧西側宝くじ売り場	24,609	29,189	23,466	33,527	32,328		

付近							
地点 33：JTB前	14,755	15,657	17,732	21,514	20,007		
地点 34：KCA・アクロスプラザ大分駅前	5,069	5,757	6,204	8,188	6,723		
地点 35：東側ゲオ前	9,360	10,895	11,650	17,090	13,633		

〈分析内容〉

中心市街地の歩行者通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり進捗している。

昨年度のフォローアップと比較し 15 地点で増加、23 地点で減少、全体として 16,241 人減少したものの、目標値である 291,000 人を上回った。地域別でみると府内町側では 6 地点で増加、7 地点で減少し合計すると 664 人減少となり、中央町側では 9 地点で増加、9 地点で減少し合計すると 7,949 人減少した。

「荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業」、「市道中央通り線歩道修景整備事業」の事業完了により基準値と比較して歩行者通行量が増加しており、計画に掲げられた事業の効果が発現していると分析される。また、「大分七夕まつり」や「大分アートフェスティバル」などの大規模イベントの開催に加え、「中心市街地商都復活支援事業」では過去最多の年間 41 件の民間イベントが開催されるなど、年間を通じた賑わい創出の取組の効果が発現しているものと考えられる。

昨年度に引き続き目標値を上回っていることから、これまでの取組を維持・改善することで目標達成は可能と見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業（末広町一丁目地区市街地再開発組合）

事業実施期間	令和元年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	商業・業務施設、共同住宅、駐車場等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業（国土交通省）（令和 4 年度～令和 9 年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国土交通省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業における歩行者通行量の増加 28,380 人 ・令和 5 年 6 月に解体工事に着工、また、令和 6 年 4 月から建設工事に着工しており、現在計画通りに進捗中である。
事業の今後について	本事業が計画通りに進捗するよう、引き続き事業に取り組む。

②. 荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業（大分市）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	「中心市街地公有地利活用基本構想」を踏まえた荷揚町小学校跡地に複合公共施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集集中支援事業（国土交通省）（令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業における歩行者通行量の増加 2,550 人 【最新値】本事業における歩行者通行量の増加 2,264 人

	・本事業による施設整備が完了し、令和6年4月1日から供用を開始している。最新値（積算根拠による推計値）は目標値をわずかに下回っている。
事業の今後について	本事業の完了により、地域住民や訪れる人が安心して快適にすごせる憩いの場が整備されたことから、イベントの開催等により、更なる中心市街地の活性化や賑わいの創出を図る。

③. 大分七夕まつり（大分市）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	8月初旬に48万人の広場をメイン会場として開催される祭り。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】間接効果のため事業目標値の設定なし 【R7年度実績】 ・48万人の広場をメイン会場とし、2日間を通して「府内戦紙」をはじめとした様々なイベントを実施し中心市街地の賑わい創出と回遊性の促進に寄与している。 8月1日：来場者数23.2万人 8月2日：来場者数15.8万人 合計：来場者数39万人 上記のことから中心市街地の賑わいの創出に寄与したと考えられる。
事業の今後について	引き続き事業に取り組み、中心市街地のにぎわいの創出と回遊性の向上に寄与する。

④. アートを活かしたまちづくり事業（大分市）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	文化・芸術の持つ創造性を産業振興に活かし、魅力づくりや地域経済の活性化を図ることを目的に、アートフェスティバルの開催、パブリックアートの制作と活用等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】間接効果のため事業目標値の設定なし 【R7年度実績】 ・3年に一度のアートフェスティバル「大分アートフェスティバル2025 回遊劇場 w@nder」を開催した。 会 期：令和7年9月26日（金）～10月25日（日） 観覧者数：延べ344,061人 10組の参加アーティストによる作品の展示や公募による新規シャッターアートの制作、商店街と連携した『まちなかアートギャラリー』等の催しにより、中心市街地の賑わいの創出に寄与したと考えられる。
事業の今後について	引き続き事業に取り組み、中心市街地の新たな魅力の発信による来街

いて

者の増加及び回遊性の向上に寄与する。

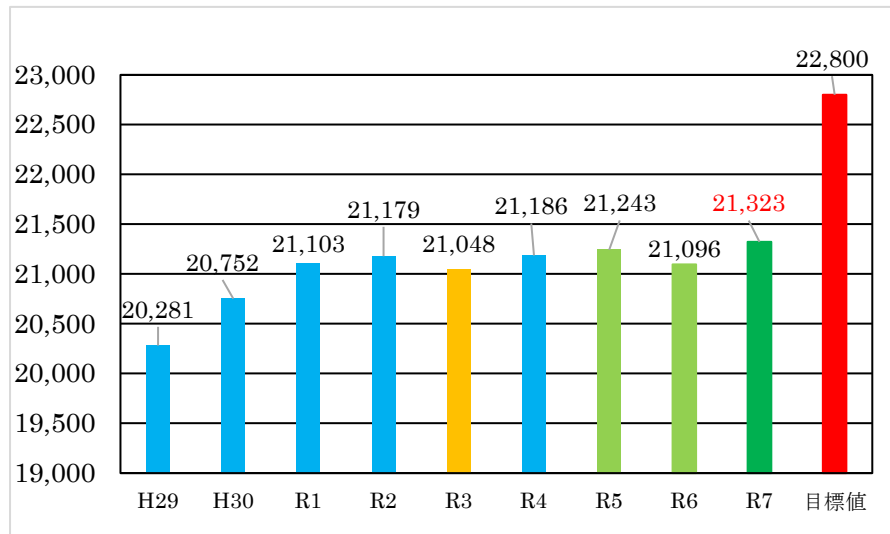
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているとともに、これまでの調査結果から、目標達成は可能と見込まれる。今後は、関係団体と連携して様々なイベントの開催支援を行うことにより、さらなる来街者の増加を図る。

(3)「中心市街地の居住人口」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 97～P. 101 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R3	21,048 人 (基準年値)
R4	21,186 人
R5	21,243 人
R6	21,096 人
R7	21,323 人
R8	
R9	
R9	22,800 人 (目標値)

認定前 基準年 認定後 最新年 目標値

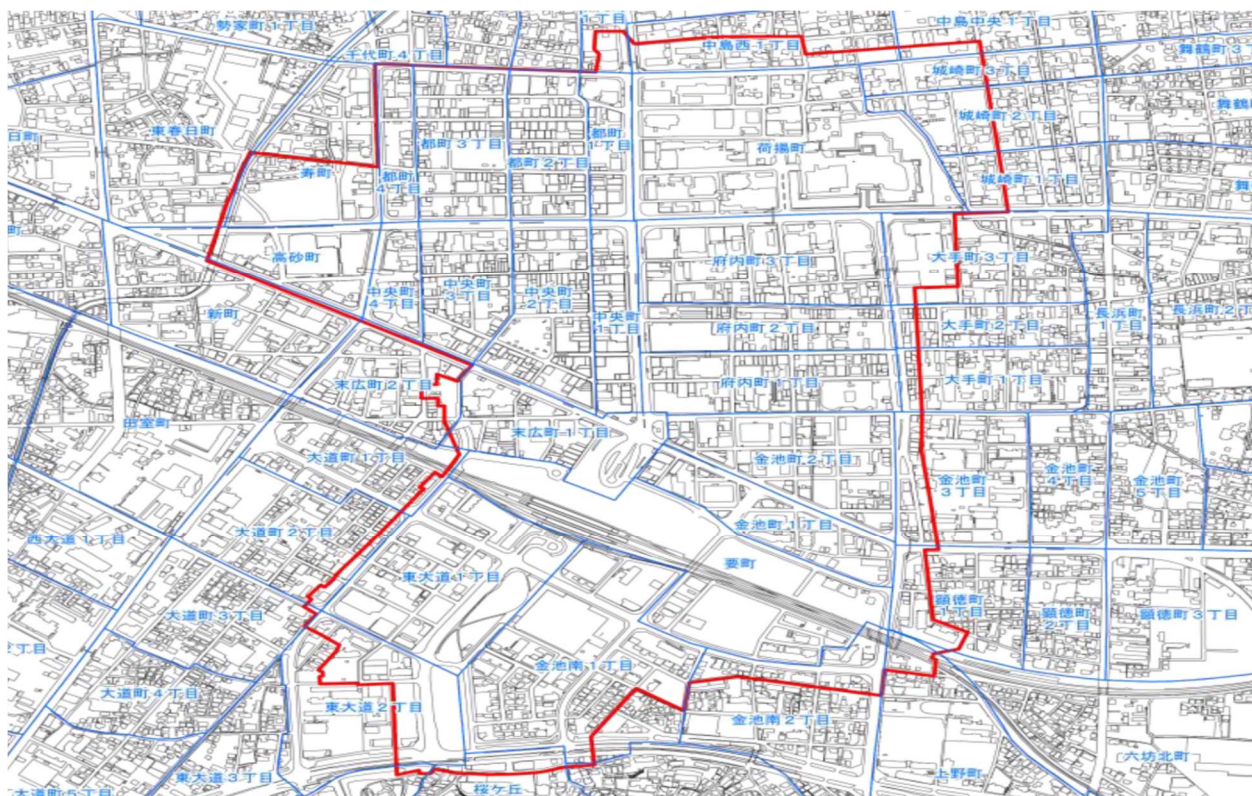
※調査方法：住民基本台帳人口

※調査月：毎年12月末

※調査主体：大分市

※調査対象：大分市中心市街地認定地域の38地区

※調査地点



(単位：人)

地区	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
上野町	1,064	996	1,014	973	1,025		
金池町1丁目	655	645	638	612	600		
金池町2丁目	1,144	1,134	1,102	1,091	1,086		
金池町3丁目	393	396	387	404	398		
金池南1丁目	1,406	1,409	1,416	1,352	1,353		
金池南2丁目	1,142	1,137	1,144	1,170	1,159		
要町	1,580	1,656	1,641	1,617	1,626		
顕徳町1丁目	665	690	696	702	705		
桜ヶ丘	268	262	260	254	252		
城崎町1丁目	699	714	711	703	681		
城崎町2丁目	806	829	810	807	804		
城崎町3丁目	657	633	613	620	635		
末広町1丁目	151	150	143	199	346		
末広町2丁目	555	529	533	538	537		
中央町1丁目	74	72	70	66	73		
中央町2丁目	138	166	288	299	287		
中央町3丁目	369	358	348	340	338		
中央町4丁目	255	261	268	268	263		
荷揚町	191	190	181	184	185		
府内町1丁目	322	321	310	320	309		
府内町2丁目	181	165	164	157	158		
府内町3丁目	247	250	248	243	239		
都町1丁目	46	45	47	46	46		
都町2丁目	157	151	146	135	129		
都町3丁目	289	277	267	269	253		
都町4丁目	72	67	71	59	62		
大手町1丁目	730	713	714	698	705		
大手町2丁目	270	258	258	267	369		
大手町3丁目	704	700	686	659	673		
千代町1丁目	377	375	390	389	386		
中島中央1丁目	327	321	326	315	318		
中島西1丁目	718	692	694	695	698		
大道町1丁目	376	353	364	352	348		
大道町2丁目	1,027	1,021	1,066	1,059	1,049		

東大道1丁目	941	933	951	952	970		
東大道2丁目	786	1,020	977	979	958		
高砂町	341	336	335	353	351		
寿町	925	961	966	950	949		

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口は、前年度のフォローアップと比較して16地区で増加、21地区で減少し、区域全体では227人増加した。

令和7年度に民間事業者による新設マンションの建設が完了した末広町1丁目や大手町2丁目においては人口が増加しており、新たな住宅供給が人口増加に影響を与えていると考えられる。

今後は、「末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業」を計画通りに進めるとともに、令和8年度以降、7棟、850戸以上のマンションの新規建設が予定されていることから、引き続き計画区域内の居住人口の増加が図られると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業（末広町一丁目地区市街地再開発組合）【再掲】

事業実施期間	令和元年度～令和9年度【実施中】
事業概要	商業・業務施設、共同住宅、駐車場等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業（国土交通省）（令和4年度～令和9年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業における中心市街地の居住人口の増加 675人 ・令和5年6月に解体工事に着工し、また、令和6年度に建設工事に着工しており、現在計画通りに進捗中である。
事業の今後について	本事業が計画通りに進捗するよう、引き続き事業に取り組む。

②. 荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業（大分市）【再掲】

事業実施期間	平成29年度～令和5年度【済】
事業概要	「中心市街地公有地利活用基本構想」を踏まえた荷揚町小学校跡地に複合公共施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】本事業における中心市街地の居住人口の増加 392人 【最新値】（積算根拠による推計値）本事業における中心市街地の居住人口の増加 343人 ・本事業による施設整備が完了し、令和6年4月1日から供用を開始している。最新値（積算根拠による推計値）は目標値を下回っている。
事業の今後につ	本事業の完了により、地域住民や訪れる人が安心して快適にすごせ

いて	る憩いの場が整備されたことから、イベントや広報の実施により施設の利用促進を図る。
----	--

③. まちなかりノベーション居住等物件魅力アップ事業（㈱大分まちなか倶楽部）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗等の魅力アップと老朽化した物件のリノベーションを行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】間接効果のため事業目標値の設定なし ・人件費や建築資材の高騰などの外的要因により、現在まで既存ストックのリノベーションを実現できていない。 引き続き物件のリノベーションの効果的な実施に向け調査・研究を進めていく。
事業の今後について	引き続き、事業に取り組み、新規出店数の増加及びまちなか居住の魅力を高め、商業の活性化及び居住人口の増加につなげる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の居住人口増加に向けた各事業については、概ね予定通り進捗している。

今後は、「末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業」を計画通りに進めるとともに、「アーバンスポーツ施設整備事業」によって令和8年4月から供用開始した「大手公園スケートボードパーク」や「若草公園再整備事業」など、中心市街地のさらなる魅力の創出に資する施設の活用や新たな整備により、住みたくなるまちなかの環境づくりに一層努め、居住人口の増加を図る。